

ISSN 2186-5655

科学研究費研究助成基盤研究（B）成果報告書

日本語コミュニケーション 研究論集

第10号

2021年3月

日本語コミュニケーション研究会編

目次

- | | |
|------------------------------|----|
| (1) 山岡政紀（創価大学） | 1 |
| 日本語配慮表現データベース構築プロジェクト報告(3) | |
| ——2020年度の活動報告—— | |
| (2) 牧原功（群馬大学） | 14 |
| 日本語の挨拶表現とポライトネス | |
| ——「こんにちは」について—— | |
| (3) 甲田直美（東北大学） | 25 |
| 後回しの配慮 | |
| —注釈の談話標識「ただ」「実は」— | |
| (4) 大和啓子（群馬大学） | 35 |
| 丁寧体で用いられる「てしまう」縮約形「ちゃう」の配慮機能 | |
| (5) 李奇楠（北京大学） | 42 |
| 接辞の用法とポライトネス | |
| (6) 大堀裕美（創価大学大学院） | 52 |
| 日本語の二重否定モダリティ | |
| ——二重否定の型と発話機能の事例から—— | |
| (7) 李丹（創価大学） | 64 |
| 副詞「たしかに」の慣習化にみる未実現事態への危惧 | |
| (8) 小野正樹（筑波大学） | 72 |
| CEFR から見る多様な日本語コミュニケーションの必要性 | |

日本語コミュニケーション研究論集 第10号

発行 2021年3月20日

編者 日本語コミュニケーション研究会

編集担当 山岡政紀、中後幸恵

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236 創価大学

Tel 042-691-4879 (山岡研究室)

E-mail: myamaoka@soka.ac.jp

印刷 明和印刷株式会社

〒113-0023 東京都文京区向丘1-5-2

Tel 03-5800-2871 (代)

謝辞 本研究論集は以下の科学研究費補助金・研究助成を受けた研究課題の成果報告書です。
ここに謹んで謝意を表します。

基盤研究(B) 課題番号 18H00680 2018-21年度

研究課題：日本語配慮表現辞典の基盤形成のための配慮表現正用・誤用データベースの構築

研究代表者 創価大学 山岡政紀

基盤研究(C) 課題番号 17K02840 2017-20年度

研究課題：日本語学習者のポライトネスに関わる言語運用についての基礎的研究

研究代表者：群馬大学 牧原功